

平成17年度広域連携等産地競争力強化支援事業評価結果一覧

高モデル・先進型事業

※については、目標未達成の事業のみ記載した。

都道府 県名	市町村 名	事業実施主 体名	取組名	事業実 施年度	対象作物・施設 名	成果目標の達成状況					費用対効果分析関係		地方農政局長等の意見 (※)	備考
						具体的な内容	現状 (計画時点)	目標 (平成21年度)	実績 (平成21年度)	達成率	事前評価	事後評価		
北海道	豊富町	豊富町農業 協同組合	競争力強化 生産総合タイ プ	17年度	家畜飼養管理施 設 畜舎1棟 搾乳ロボット2基 等	労働時間の削減	146.6時間/頭	40.7時間/頭	35.9時間/頭	104.5%	1.13	0.18 (1.06)		費用対効果について、H19年度の 生乳の減産型の計画生産時の飼料の 給与を減らして乳量を抑制したこと や多雨天候により粗飼料の生産や栄 養価に影響あり、1頭当たりの乳量 が大きく減少したため、21年度に見 込んできた収入額を下回った。 また、支出については、21年度に 農地防災事業における草地改良を実 施に伴う肥料費分等が増加したこに より21年度の支出が増加した。 このため、費用対効果が計画値を 下回る結果となったが、生乳生産量 の減少の影響や事業による草地改良 に伴う肥料費等を考慮すると費用対 効果は1.06となることから本事業に よる取組は、十分な効果が得られる と考えられる。
北海道	湧別町	(有)アグリ サポートぱ ろう	競争力強化 生産総合タイ プ	17年度	飼料作物 飼料作物収穫調 整貯蔵施設 混合飼料調製・ 供給施設 単飼料貯蔵施設 等	飼料自給率の向上	50.9%	53.6%	54.5%	133.3%	3.03	0.48 (1.37)		費用対効果が計画値に比べ低い数 値となった理由について は、本事 業の費用対効果等の算定が、参加農 家の経営状況により算定されること により大きく増減されることが考え られる。収入については、出荷乳量 の増加や乳価引き上げにより増加し たが、原油価格の高騰等による資材 費の高騰や参加畜産農家の規模拡大 に伴う雇用増大に係る雇用労賃の増 加等により支出が増加した結果、費 用対効果が低い数字になったもので ある。 なお、飼料価格の高騰の影響が無 かった場合、費用対効果は1.37とな る。
宮崎県	都城市	都城農業協 同組合	競争力強化 生産総合タイ プ	17年度	肉用牛（繁殖 牛） 家畜飼養管理施 設10棟 管理棟兼倉庫1棟 飼料倉庫1棟 堆肥舎1棟 発情発見装置一 式 家畜排泄物処理 機械一式 飼料調整用機械 一式	子牛1頭当たりの生産 費削減	349,022円/頭	293,888円/頭	388,117円/頭	△70.9% (87.1%)	1.54	2.31	当事業により整備した開 放型省力化牛舎により飼養 管理の省力化を図り、縮減 された労力を繁殖管理、粗 飼料生産等に充てることに より生産コストを削減する こととしていたが、事業計 画時には予測できなかった 配合飼料価格の高騰等によ る生産コストの増大等によ り成果目標は達成されな かった。今後も、生産コス トの削減を図っていくこと が必要。	なお、飼料価格の高騰の影響が無 かった場合、子牛1頭当たりの生産 費は、301,007円となり、達成率は 87.1%となる。